

青森県バスケットボール協会 審判部 大会等における審判員の活動指針

作成 2020.06.27

【基本指針】(JBA 基本指針より)

1) 安全最優先

生命・健康の安全を優先とし、感染拡大のリスクを大限に排除した、選手・チーム、指導者、審判、運営スタッフ、それらの方のご家族等が安全に活動できる環境を提供します。

2) 「新しい日常」・「新しい生活様式」への適応

Before コロナの「日常」が即座に戻ることは無いということを前提に、置かれた状況の正確な分析・理解に基づくガイドラインを設計します。

3) 不当な扱いや差別などの禁止

感染状況で異なる活動差をもって選手やチームを不当に扱うことはせず、感染状況に起因する一切の差別や 誹謗・中傷を許容しません。

① 事前対応

- a 各自 JBA から発行しているチェックシート (2W) の記入を行う (大会では要提出)
- b 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触があった場合、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合が判明した場合は、参加を控え審判割当担当者へ連絡する

② 大会当日

- a 外出前、体温を測定し、平熱を超える場合 (目安 37.0℃以上) はキャンセルすること
- b マスクを着用する
- c 大会・練習試合で会場に入る際は、入口にて検温を行うこと
- d 消毒、手洗い (消毒が出来ない場合は手洗い) を行うこと
- e チェックシートの提出 (審判控室にて感染対策責任者へ)
※忘れた際は、大会期間中に提出する (それでも忘れたらデータで地区審判長小泉へ提出)
※2 日間参加の人は、2 日目に朝はかって会場で記入すること

③ 試合前 (控室・更衣室含む)

- a 審判控室の扉は常時開放していること
- b 審判控室に設置している消毒液で手指消毒を行うこと
- c 着替えを行う際は、素早く行う
- d 更衣室が狭い場合は、3 密に考慮しローテーションを組んで着替える
- e プレゲームカンファレンスは、マスクを着用し対面とならない様に考慮し、会場内で 3 密を避

けた場所で手早く済ませる

f 握手は行わない

g 試合球は消毒を行う

※但し、ボール劣化につながる恐れがある為、持寄りの場合はチームに確認を入れる

h 選手との不要な接触は避ける

i コート上のコーチ等と話を行う際は、横並びで行う

④ 会場内

a 審判中、咳が出続ける等のカゼ症状が出た場合は積極的に中止し、速やかに帰宅すること

b 担当試合以外は、常時マスクを着用すること（食事中は除く）

c 担当試合間での試合観戦等は、ソーシャル・ディスタンスを守る

⑤ 試合後

a 握手、ハイタッチ等を行わない

b 消毒、手洗い（消毒が出来ない場合は手洗い）を行うこと

c 審判員同士の振り返りミーティングは基本行わない（行う際は、マスク着用、3密考慮で短時間に素早く）

d 飲食物等のごみは各自で持帰り処分すること（クレーム対応として会場近くのコンビニ等に捨てない）

e 該当大会後 14 日以内に感染が発覚した場合は、県審判長へ連絡を入れる

f 会場に長居しての談笑等は控える

⑥ その他

a アイスボックス等は設置しない

b 大会にエントリーしていない審判員（父兄は除く）は、会場に入らない

※本指針は現段階で得られている知見等に基づき作成しています。今後、状況に応じて内容を修正する可能性がありますので、ご注意ください。